

2023年8月7日

にじの会利用者・ご家族の皆様

にじの会関係者の皆様

にじの会理事長 石崎優仁

## 5回目の新型コロナウイルス施設内感染の報告

第9波と言われる感染拡大の中で、にじの会では5回目の施設内感染が発生致しました。感染拡大防止の措置をとり、日中活動の感染部署はにじアートのみに留めることができ、8月7日現在は入所利用者1名・ホーム利用者3名と自宅利用者2名・職員2名が療養中ですが、他の利用者職員は通常的生活・活動を継続や復帰しております。

### 1. 施設内感染状況

- ① 感染者は、利用者10名・職員8名 計18名です。
- ② 感染発生部署は大沢にじの里1F・3F生活フロア、3ホームの5生活部署と、日中活動部署ではにじアートです。
- ③ 感染経緯と事業運営
  - ・ 7月27日朝、2ホームの利用者2名が発熱し抗原検査で陽性が確認されました。
  - ・ 同日に全生活部署の利用者・職員と日中部署の通所利用者・職員の抗原検査を実施した結果「大沢にじの里3F」利用者1名・にじアート通所利用者1名が陽性となり、隔離・自宅療養としました。
  - ・ 28日・29日に「にじの空」の利用者2名が陽性になり、28日～30日にホームの職員2名・にじアート職員4名も抗原陽性になりました。31日に「にじアート」通所利用者2名・「にじの森」利用者1名とホーム職員1名が抗原陽性になりました。各々隔離・自宅療養としました。
  - ・ 8月4日ににじアート職員1名が陽性となり、7日に「大沢にじの里1F」利用者1名が抗原陽性で隔離となりました。
  - ・ 今回の陽性者は、感染後1～3日後に陽性になるケースが多く、殆どが感染経験がない利用者・職員で、症状は38度前後の発熱と喉の痛みがあるケースも一部出ていますが、無症状を含め全体には軽い症状が多いようです。
  - ・ 各事業の運営は継続して実施しており、陽性者は隔離療養・自宅療養とし、他の利用者・職員は毎日抗原検査を実施の上、活動や支援に参加しています。

### 2. 今回の施設内感染の発生要因と拡大防止状況

- ① 今回の施設内感染はにじアートとホーム利用者から発生しましたが、具体的な感染原因は把握できていません。

- ② 隔離場所支援の職員の感染防止は、ホーム職員 3 名の陽性者が発生しましたが、1 名は陽性利用者の隔離前の感染と見ており、隔離陽性者支援での感染は 2 名と判断しています。
- ③ 日中支援中の職員は、にじアートの 3 工房で 5 名感染しており、マスク着用不足の利用者を支援した時に感染したと思われます。

以上のような施設内感染の経過です。今回の第 9 波は継続して拡大中ですが、熱中症や他の感染症との同時流行の危険も言われています。今後、感染予防策と BCP 対応力を一層強化し、施設内感染発生時の短期収束力の向上に努めます。